

# 令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 東淀川区  
学校名 下新庄小学校  
学校長名 田中 齊

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、**学力の特定の一部分**であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・下新庄小学校では、第6学年 59名

## 令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

【平均正答率】国語…市、全国を上回る 数学、理科…市と同じ、全国を下回る  
 【平均無回答率】いずれの教科も市、全国を下回るよい結果 特に算数は好結果

【指導要領の内容】国語…「書くこと」の正答率が高い  
 算数…「数と計算」「変化と関係」の正答率が低い  
 理科…「生命を柱とする領域」の正答率が高い  
 「粒子を柱とする領域」「地球を柱とする領域」の正答率が低い

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕国語を主に研究を進めてきた成果が現れてきた。とりわけ、「書くこと」の取り組みの成果が顕著。現在、研究を進めている「読むこと」の改善がこれからの課題。

〔算数〕「図形」はICTの活用などで視覚的に効果の高い学習に取り組んだ効果といえる。「数と計算」は数の性質、計算の意味を考えることに課題。「変化と関係」は、表やグラフを書いたり読み取る学習に課題。

〔理科〕「生命を柱…」は学級で実際に生物を飼育し観察する取り組みが成果の一因と見られる。「粒子を柱…」は実験に取り組んでいるが、一層、仮説-実験-検証など目的意識を明確にした実験が望まれる。「地球を柱…」は観察・実験の難しい領域だが、モデル実験を取り入れたり、視聴覚教材に工夫をこらすなどが必要。

質問紙調査より

「自分にはよいところがある」「先生が認めてくれる」「将来の夢をもつ」などに対する肯定的回答率が高く、自尊感情の醸成が認められることは、道徳をはじめ教育活動全般における大きな成果である。これからも大事にしたい。

各教科の学習について、好きと肯定的に捉えていることは授業改善の成果である。この肯定的な感覚をさらに学力テストの結果へつなげることがこれからの課題である。

## 今後の取組(アクションプラン)

〔国語〕「読むこと」…このような学力調査では初読で読み取る力が求められる。精読する学習活動に加えて、できるだけ早く読み取る訓練も入れる。そのためにも、漢字学習、語彙学習に力を入れる。

〔算数〕「数と計算」…数の性質や計算の意味の面白さを知り機械的な計算練習に陥らない学習活動にする。「変化と関係」…実際に表やグラフを書く機会を増やし、それを読み取る力をつける。また、ICTを活用して、視覚的に変化をとらえやすい学習活動もふやす。

〔理科〕なぜ・どうして?という疑問の答えを見つける活動を主眼として、観察・実験をより多く取り入れる。観察・実験の難しい内容はモデルや視聴覚教材を使い理解を深める。

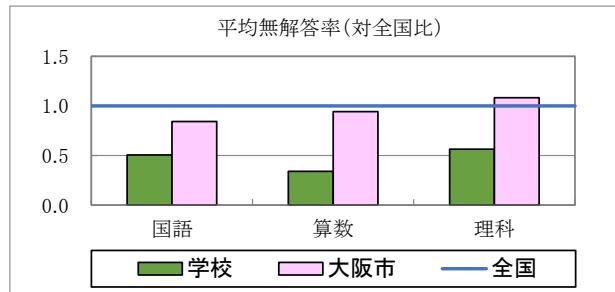
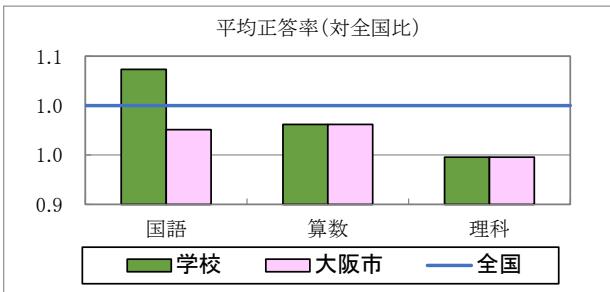
## 【 全体の概要 】

### 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	68.0	62.0	60.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3

### 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.9	1.2	2.0
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6

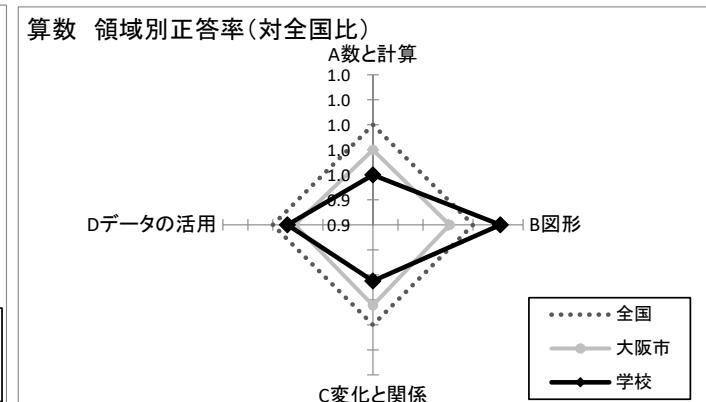
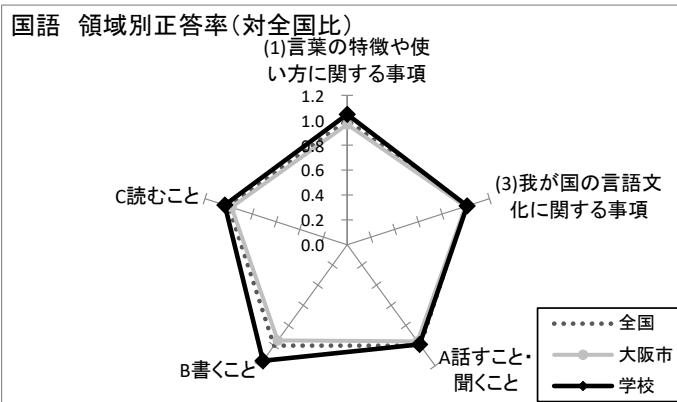
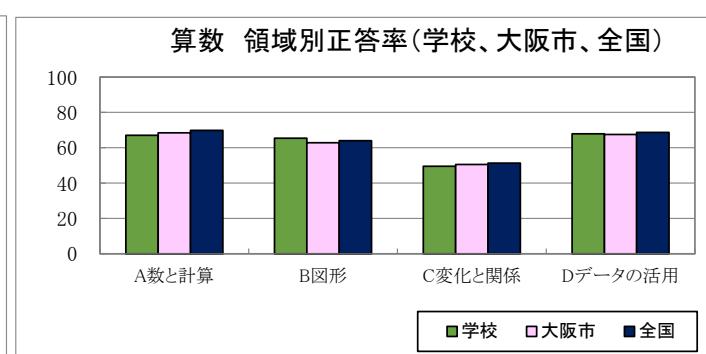
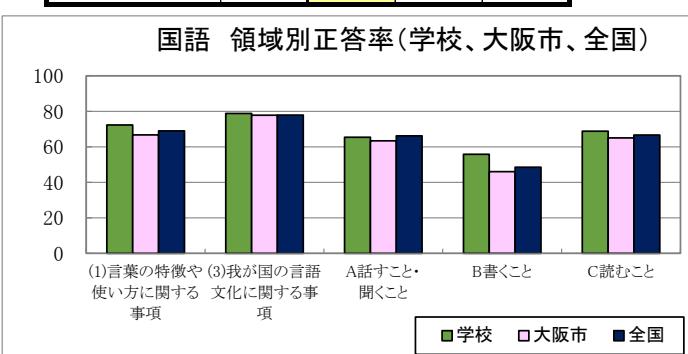


## 【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	72.3	66.7	69.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	78.8	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	65.4	63.4	66.2
B 書くこと	2	55.8	46.0	48.5
C 読むこと	4	68.8	65.0	66.6

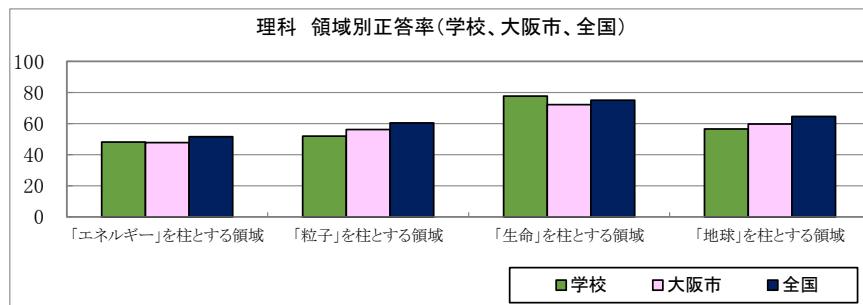
## 【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	67.0	68.4	69.8
B 図形	4	65.4	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	49.5	50.5	51.3
D データの活用	3	67.9	67.5	68.7

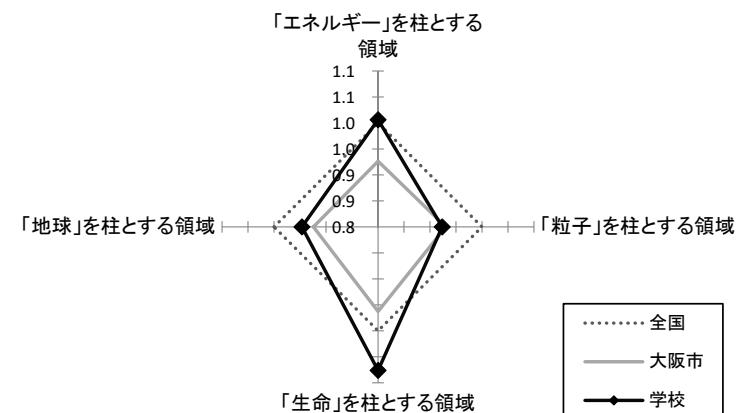


## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	48.1	47.8
	「粒子」を 柱とする領域	5	51.9	56.2
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	5	77.7	72.2
	「地球」を 柱とする領域	5	56.5	59.7



理科 領域別正答率(対全国比)



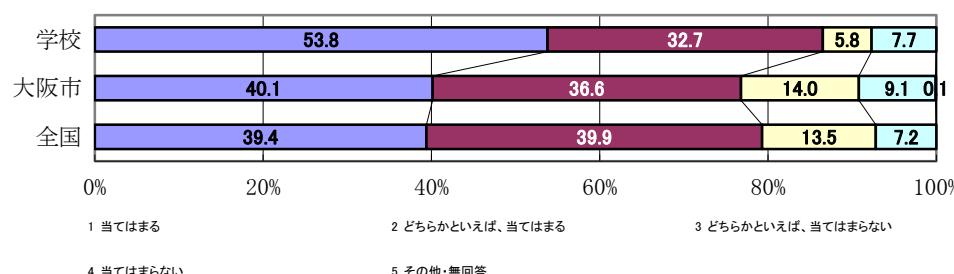
# 児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

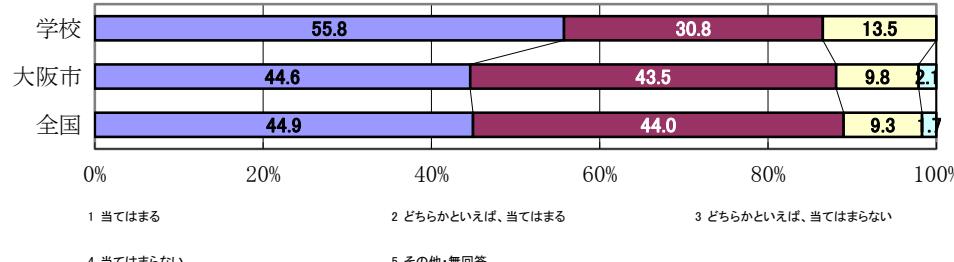
7

自分には、よいところがあると思いますか



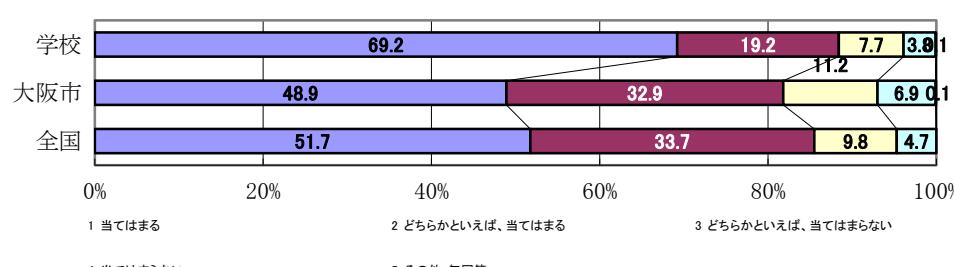
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



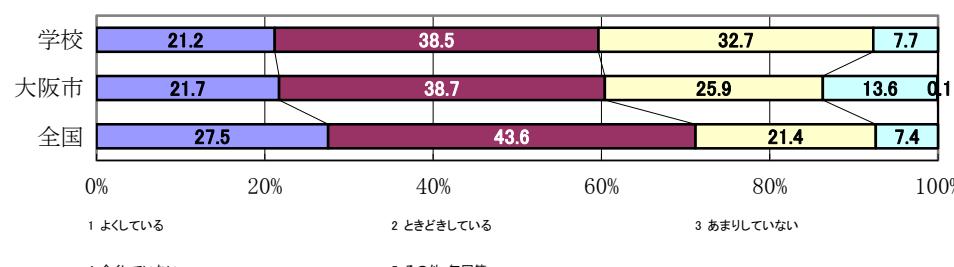
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



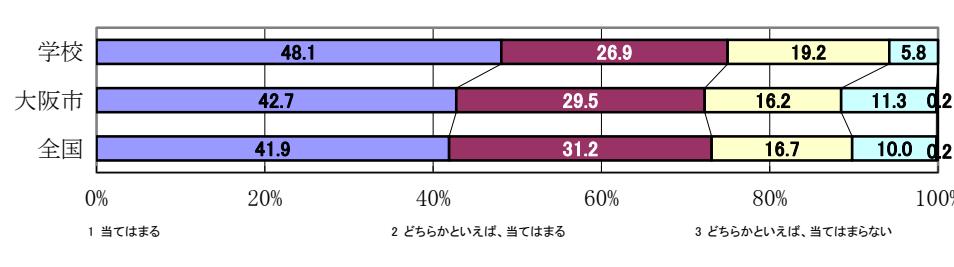
20

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



26

読書は好きですか

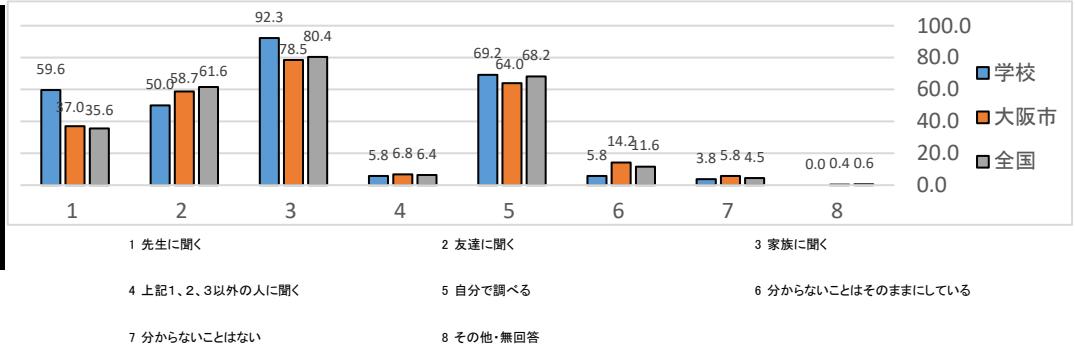


## 児童質問紙より

### 質問番号 質問事項

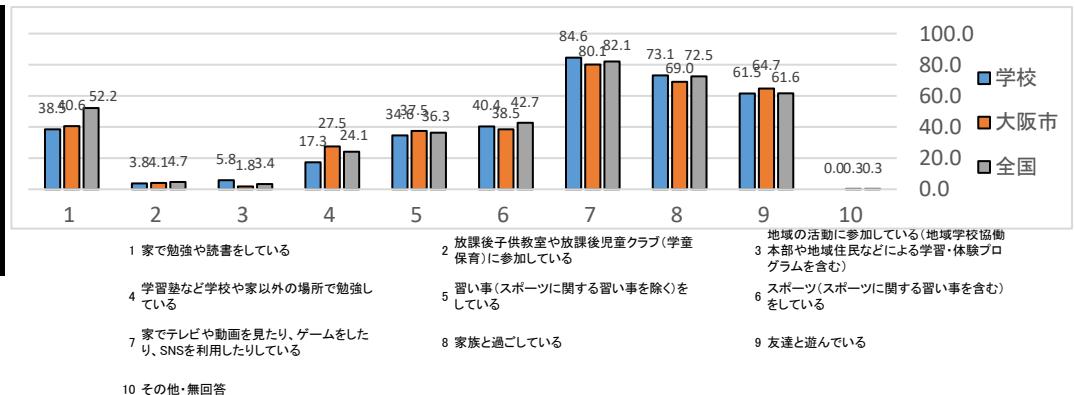
19

家で学校からの課題で分から  
ないことがあったとき、どのよう  
にしていますか(複数選択)



31

放課後や週末に何をして過ご  
すことが多いですか(複数選  
択)

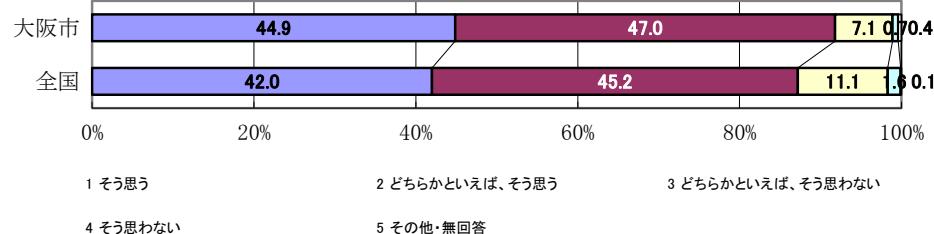


# 学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

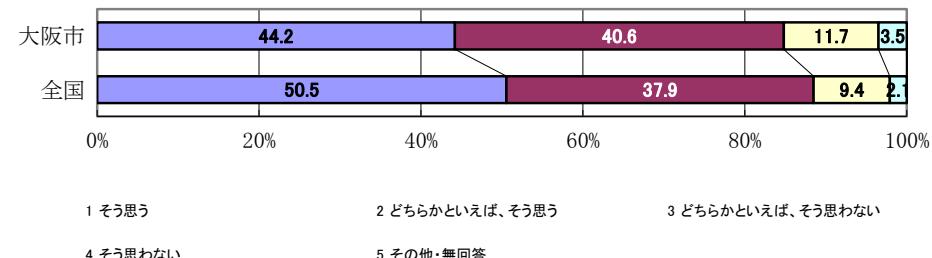
質問番号
質問事項
7
調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

## 学校 「そう思う」を選択



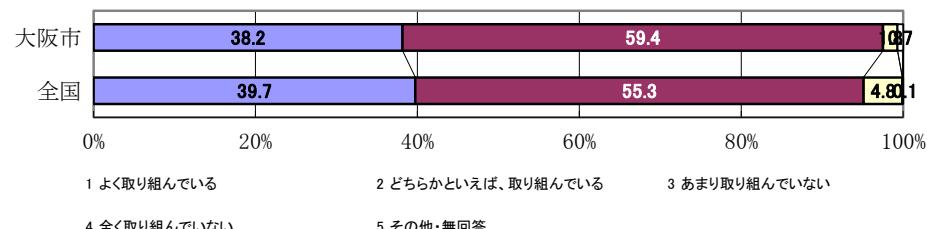
11
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

## 学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



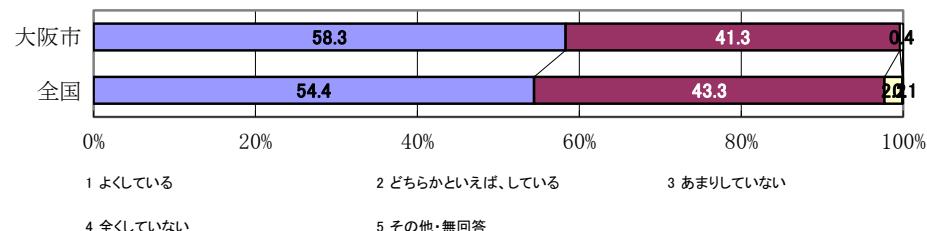
14
ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)に取り組んでいますか

## 学校 「どちらかといえば、取り組んでいる」を選択



19
授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

## 学校 「よくしている」を選択



21
個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

## 学校 「よくしている」を選択

